

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう中寺

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・1階と2階のスペースを工夫して利用している。	活動ごとにゾーニング（静かに過ごす場所、運動する場所など）を行い、空間を効率的に使用する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・適切な人員配置にしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・作業部屋や公文ルーム、専門的支援を場所と時間で区切りサービスを平等に提供できるように工夫している。 ・死角になる場所が多いので、職員の配置や、状況に応じて部屋を封鎖する等工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・おもちゃや絨毯など、定期的に消毒をしている。	事務所や踊り場、2階の物品について、使用頻度に応じた仕分け・整理を行う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・時間差を利用して複数名で対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・スタッフ会で意見を交換し、優先順位を決め業務改善を実施している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員全体で話し合える場を設けている。 ・情報を新鮮な状態で共有（夕会）し、改善している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・気軽に相談に乗ってくれるので安心して業務できる。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・他教室からヘルプで来所された職員から意見を募っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月に一度の会社の研修会がある。	支援の質が向上するようなピンポイントな研修を企画していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・計画書の閲覧を徹底している。 ・計画作成前に、事前の相談を積極的に行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者との良好な関係を大切にし、負担をかけないようアセスメント表を工夫して情報を収集し、計画を作成しています。作成後のチェックも職員間で行っています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・スタッフ会で様々な角度から情報を交換している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・疑問に感じた事を夕会を通して確認し修正している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・日々の観察記録を活用し、子どもの状態把握に努めている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・移行支援においては進学に応じて家族様と相談し、進学に有利になるような活動を実施している。 ・地域支援・地域連携においては専門的支援実施計画書の中で子供にとって必要と考えられる目標を設定し、実際に計画し実施している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・スタッフ会で話し合っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・外出イベントの内容を増やしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・専門的支援の中で、効果的な集団での活動を提供したり、状況に応じて個別で活動を提供している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼後時に役割を分担し、注意すべき点を確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・行事が終わった時に反省点など話し合っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・ケース、ヒヤリハット、連絡帳を分担して確実に記録している。 ・チェック役の職員も設け、記録の質にも配慮している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的に支援内容を確認し、必要に応じて見直しを行っている。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・食事や着替え、衣類の管理など自主性を促している。 ・季節ごとのイベントで工作を実施している。 ・定期的に地域のイベントに参加している。 ・自分で自由に活動できる余暇時間を設けている。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・本人の意思決定を優先できる機会を設けている。	おもちゃやゲーム、運動器具などを充実させ、こどもが活動やサービスを選択できる環境づくりに努めていきたい。	
連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が指導員や専門職から情報を収集した上で会議に参加している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・送迎時に学校の職員と情報を共有するよう配慮している。 ・保護者を通して医療機関の情報や学校との連携を試みしている。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校から下校表をいただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・相談員や保護者を通じて、情報共有ができています。	就学前に利用していた所と積極的に情報共有を行い、継続した支援につなげていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		就労への移行があった際には、関係機関と情報を共有し、円滑な移行につなげていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		児童発達支援センターの研修や講座に職員が参加できるよう調整し、知識や技能の向上を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		機会があれば交流していきたいと考えているが、実施が難しい状況もあるため、今後は交流の機会を持てるよう努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・定期的に管理者・児童発達支援管理責任者の両名が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に連絡帳を通して話し合っている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		家族向けの研修などは設定されていなかったため、今後の課題として行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・個別支援計画および専門的支援実施計画については、キーパーソンにアポイントを取り、管理者・専門職・児童発達支援管理責任者が直接ご説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・個別支援計画、専門的支援実施計画ともに要望書に学校や自宅での現状や、デイサービスに期待することを記入してもらっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・送迎時に、個別支援計画および専門的支援実施計画についてキーパーソンにアポイントを取り、管理者・専門職・児童発達支援管理責任者が直接ご説明のうえ、署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・要望書の内容を反映した支援計画を作成し実施している。	職員全体に周知し、一定したサービスを提供していきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		他教室とも連携して、合同行事を計画し、合同での家族会等を実施していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情に対しては真摯に受け止め対応している。 ・苦情に発展しないよう常日頃からコミュニケーションを大事にしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・質の高いブログを作成している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・連絡帳や計画書では、悲観的にならないよう言葉を選んで作成している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		行事への参加はしていないが、公園や地域の施設を利用して交流を行っている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種マニュアルを策定し、職員間で周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・お子さまにも分かりやすいよう、ICTを活用した訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・家族様の情報提供により、てんかんや服薬状況等を計画書で管理している。与薬表も活用している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・家族様の情報提供により、アレルギーや服薬状況等を計画書で管理している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・会社全体で研修を行い、安全に支援できるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・職員会で話し合い、対応・改善を共有している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・教育現場と違う対応を指示されて疑問がある時には、すぐに連絡相談して善処することができている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・契約時に説明しているが、現在身体拘束をするような場面はない。		

保護者様評価、自己評価についてまとめ

以前よりイベントのバリエーションが増え、活動内容の充実につながっていることがうかがえます。今後は、児童館との交流や保護者会の開催などを通して、保護者様同士が話し合い、交流できる機会を設けていきたいと考えております。また、放課後等デイサービスで実施しているイベント内容や支援内容について、より積極的に発信・周知を行い、ご家族様の安心や満足につながるよう努めてまいります。